

各 位

会 社 名 株式会社 山陽百貨店
 代 表 者 名 代表取締役社長 澤田 瑞穎
 (J A S D A Q コード番号 8 2 5 7)
 問 合 せ 先
 役 職 ・ 氏 名 取締役業務統括ゼネラルマネジャー
 仲井 大八
 電 話 番 号 0 7 9 2 - 2 3 - 1 2 3 1

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 12 月 12 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 18 年 2 月期 業績予想数値の修正 (平成 17 年 3 月 1 日 ~ 平成 18 年 2 月 28 日)

(1) 個別業績予想 (単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 17 年 12 月 12 日発表)	24,897	5	81
今回修正予想 (B)	24,212	13	106
増減額 (B - A)	685	18	25
増 減 率 (%)	2.8%		
前期 (平成 17 年 2 月期) 実績	24,597	132	21

(2) 連結業績予想 (単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 17 年 12 月 12 日発表)	28,065	36	56
今回修正予想 (B)	27,360	2	74
増減額 (B - A)	705	34	18
増 減 率 (%)	2.5%	94.4%	
前期 (平成 17 年 2 月期) 実績	28,243	184	46

2. 修正の理由

個別につきましては、平成 17 年 4 月 27 日に行いました婦人服飾、婦人雑貨中心の売場改装の効果为非改装売場である食料品、家庭用品には波及せず、売上高は前回予想に比べ 685 百万円減少し 24,212 百万円となる見込みであります。これに対して、徹底した経費の削減に努めましたが、売上高の減少に伴う売上総利益の減少を補うまでには至らず、5 百万円と予想しておりました経常利益は 18 百万円減少し 13 百万円の経常損失となる見込みであります。また、当期純利益につきましても、前回予想の 81 百万円の当期純損失が 25 百万円増加し 106 百万円となる見込みであります。

連結につきましては、個別の業績予想の修正及び連結子会社の業績見込みに基づき、予想を修正するものであります。

以 上